

衆議院内閣委員会ニュース

平成 26. 3. 19 第 186 回国会第 6 号

3月19日（水）、第6回の委員会が開かれました。

1 内閣の重要政策に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

・菅内閣官房長官、古屋国務大臣、森国務大臣、甘利国務大臣、稲田国務大臣、浜田復興副大臣、岡田内閣府副大臣、関口総務副大臣、木原外務大臣政務官、小松内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

後藤 祐一君（民主）

- ・特定秘密保護法の適正な運用のため設置された情報保全諮問会議で各委員と事務局が個別に行った質疑の内容を国会議員へ情報提供すべきと考えるが、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・特定秘密として「不適切なもの」とされる情報の具体的類型を政府が示す必要があると考えるが、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・一般論として、現行の憲法解釈と異なる解釈を可能とするような閣議決定を無効とする国会決議が行われた場合、当該閣議決定の効力について小松内閣法制局長官の見解を伺いたい。

近藤 洋介君（民主）

- ・武器輸出三原則の見直しについて、どのような観点から見直しを行う予定であるのか、また、変更を検討している点について具体的な説明を菅内閣官房長官から伺いたい。
- ・3月11日の閣議後の記者会見で、甘利国務大臣は、利益が増えているのに賃金改定等を実施しない企業に対して「経済産業省から何らかの対応があると思う」と発言したが、具体的にどのような対応を想定しているのか伺いたい。
- ・法人税減税について、政府税制調査会の大田座長と黒田日本銀行総裁との間で見解が異なることについて甘利国務大臣の見解を伺いたい。

村上 史好君（生活）

- ・春闘において賃上げの結果が出た一方で、全国の中小企業への賃上げの波及はまだだではないかと考える。政府における中小企業の賃上げの見通しについて、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・政府の「2013（平成25）年10-12月期GDP速報（2次速報値）」では、10-12月期の実質GDP成長率が下方修正されるとともに、7-9月期の実質GDP成長率についても下

方修正された。景気はむしろ減速しているのではないかとの見方に対して、甘利国務大臣の見解を伺いたい。

- ・警察庁「平成25年中における自殺の状況」では、20代から40代までの働き盛りの世代の自殺者が数多くいるが、この点について経済的側面から見た考え方について、甘利国務大臣及び森国務大臣の見解を伺いたい。

田所 嘉徳君（自民）

- ・アベノミクスの成果として円高是正、株価上昇などが見られるが、地方では豊かさが実感できないとの意見を聴く。これらの成果を地方にどのように広げて豊かさを実感できるようにしていくつもりなのか、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・4月の消費税率引上げを目前に控えて、これに対応するために策定した「好循環実現のための経済対策」をどのように進めていくつもりなのか、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・「日本再興戦略」において「成長戦略の中核」とされる「女性の活躍推進」に向けて、政府はどのように取り組んでいくつもりなのか、森国務大臣の見解を伺いたい。

福山 守君（自民）

- ・警察庁「平成25年中における自殺の状況」を見ると、全体の自殺者数が減少する中で、東日本大震災の被災地である福島県では、むしろ増加している。このような状況についての岡田復興副大臣の見解を伺いたい。
- ・「東海・東南海・南海」三連動地震の発生が懸念される中で、政府においては、これに対する国土の強靱化の観点から、事前防災、減災対策をさらに加速していく必要があるのではないかと、政府の説明を伺いたい。また、このような巨大地震が発生した際、相当の混乱状態になると思われるが、このような状況下での応急対策活動、特に高齢者、障害者等要配慮者については、どのように対応するつもりか、政府の見解を伺いたい。

高木 美智代君（公明）

- ・障害者施策における情報・コミュニケーションの重要性について、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・ベビーシッターの質を確保する仕組みを整備する必要があると考えるが、今後の法的整備の検討の方向性について、森大臣に伺いたい。

山之内 毅君（維新）

- ・政府は、クールジャパン戦略を展開するために、本年4月に「CJムーブメント推進会議」を開催するとしているが、既存の「クールジャパン推進会議」との関係について、稲田国務大臣に伺いたい。
- ・地方が展開するクールジャパンの取組を推進する必要性について、稲田国務大臣に伺いたい。

赤嶺 政賢君（共産）

- ・特定秘密保護法において、内閣官房の特定秘密を指定する立場にある内閣総理大臣が、特定秘密の指定等の運用の基準を作成すること及び同法の適正な運用の確保のための第三者機関の主任大臣であることは妥当であるか。
- ・適性評価の調査事項ではない異性交遊関係、政治活動、組合活動及び思想信条についても調査事項と関連付けて調査されるのではないか、森国務大臣に確認したい。

松田 学君（維新）

- ・民営化された日本郵政株式会社の人事に対して、政府が介入し過ぎではないかという批判もあるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・世論調査によると多くの国民が河野談話について検証を行うべきと考えているとされていることから、検証を行って、その結果を国民に明らかにすべきであると考え、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

中丸 啓君（維新）

- ・外国人による売春が横行している現状に対して、どのような取組が行われているのか、古屋国家公安委員会委員長に伺いたい。
- ・「アンネの日記」の本が破られた事案について、被疑者の実名が報道されていない理由とイスラエル政府に何らかの対応をしたのか、それぞれについて古屋国家公安委員会委員長に伺いたい。

大熊 利昭君（みんな）

- ・「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」では、集団的

自衛権を発動する個別具体的なケースを議論するに当たり、専守防衛を前提とした検討を行っているのか、菅内閣官房長官に伺いたい。

- ・官民ファンドは、官が出資していることから、ファンド運営者のリスク判断を鈍らせる等の弊害があるのではないか、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

2 内閣府設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第9号）

- ・ 山本国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。